

木崎地域の 公共施設の これからを考える

取り組みをご紹介します

- 1.市の公共施設をめぐる課題
- 2.市の取り組み
- 3.木崎地域の状況とプロセス
- 4.木崎地域の公共施設の将来のあり方
- 5.今後のプロセス



パネル展示へようこそ！

ぜひご覧ください！

みなさんのご意見をお寄せください！

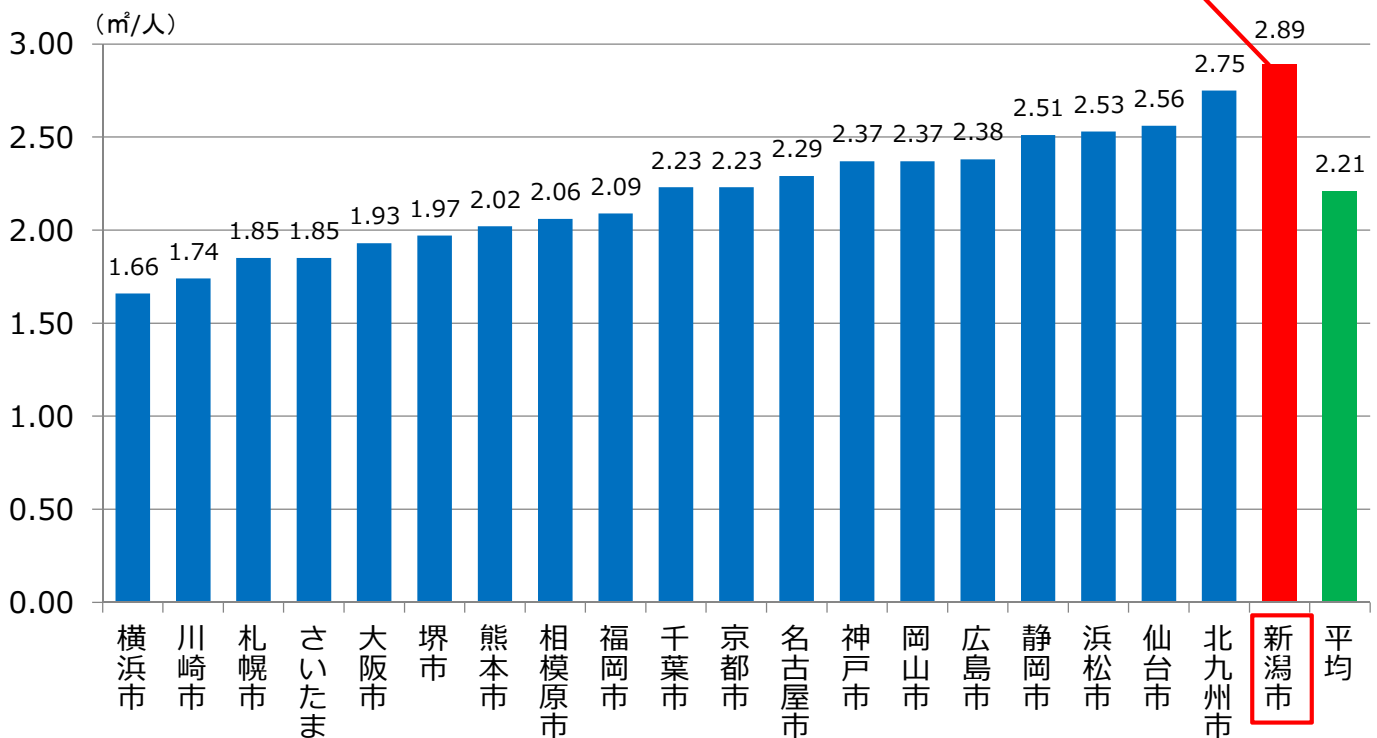
新潟市の公共施設をめぐる状況は…①

政令市で最大の施設面積を保有

公営住宅を除いた市民1人あたりの市の施設面積で比較すると、新潟市は2.89㎡となり、政令市の中で最も多くなっています。

各政令市の人口1人あたりの建物保有状況(公営住宅以外の行政財産)

政令市の平均値：2.21㎡/人
新潟市 = 2.89㎡/人



「財産白書(平成30年度版)」20ページ

「図3-12 人口1人あたりの建物保有状況(公営住宅以外の行政財産)」



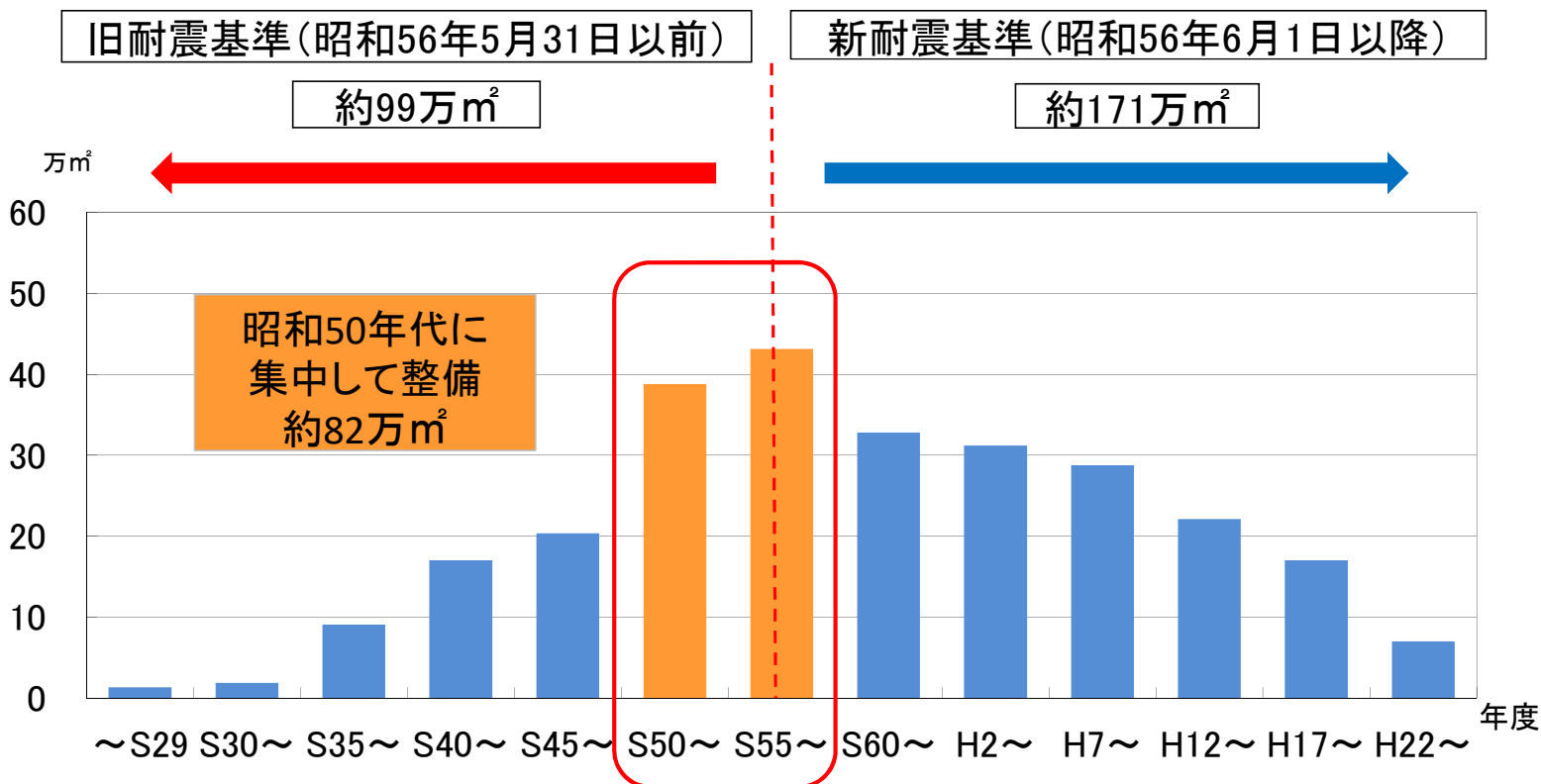
市が持っている施設の面積は、市民1人あたりでは新潟市が政令市の中で一番多いのね！

新潟市の公共施設を めぐる状況は…②

今後、一斉に修繕や建替えの時期が到来

現在使われている公共施設は、人口増加が著しかった昭和50年代に整備されたものが多く、老朽化による修繕や建替えの時期が一斉に到来することが見込まれます。

建築年別にみた公共施設の整備状況



「新潟市財産白書（平成25年度版）」58ページ
「図3-17 築年別にみた公共施設の整備状況」

同じ時期に建てた建物は一斉に古くなるね。修理や建替えの費用もかさんでくるね…

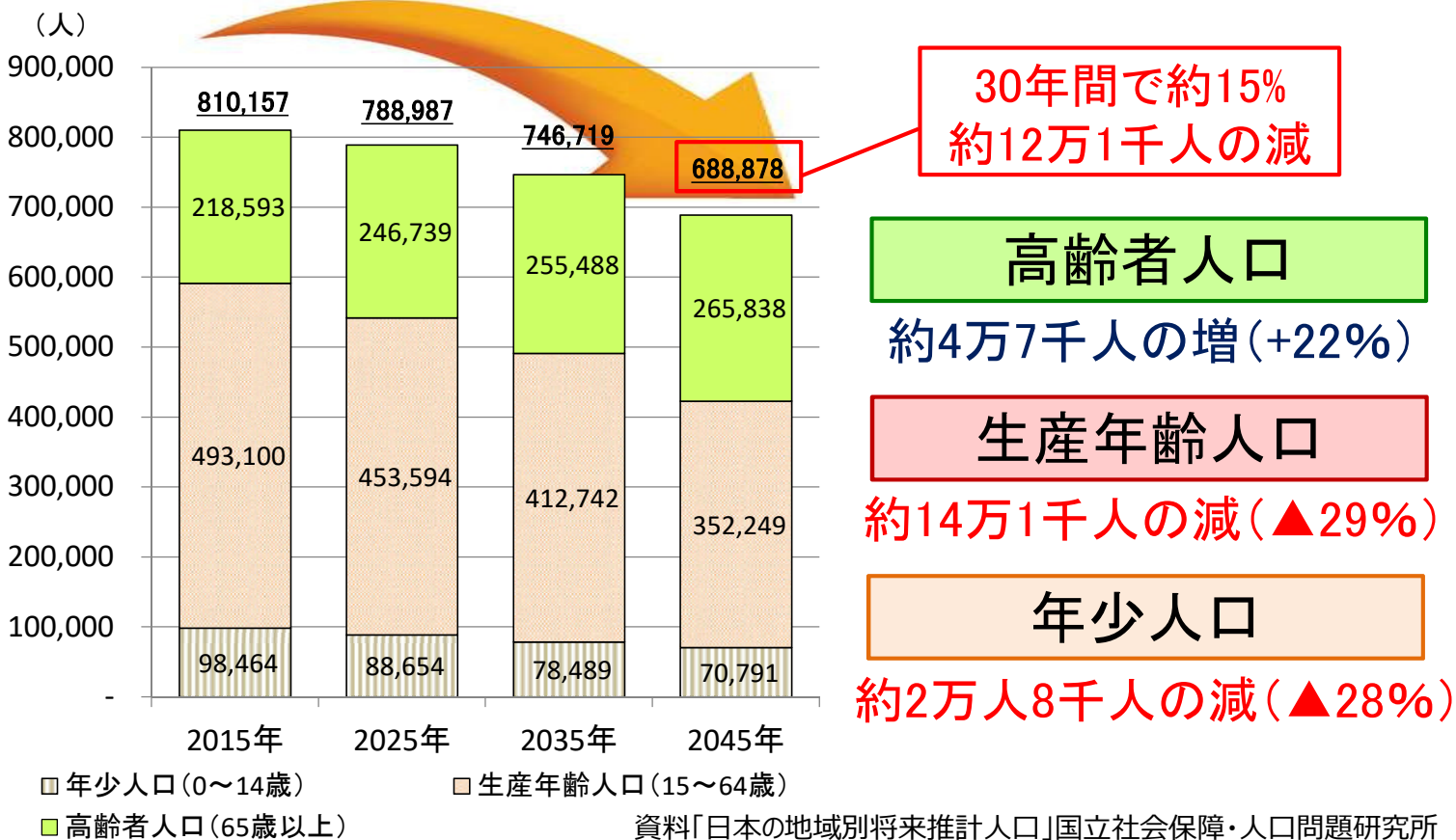


新潟市の公共施設をめぐる状況は…③

将来の人口減少と世代構成の変化への対応

平成27年（2015年）から30年後までに、およそ12万1千人もの人口減少が予測されています。とりわけ、勤労世代である生産年齢人口（15歳から64歳）の減少が著しいため、将来の税収増加の見込みは厳しいものとなっています。

本市の将来推計人口（総数・3区分構成）



人口が減るだけじゃなくて、
世代構成も大きく変わるから、
施設の使い方も変わってくるね…

新潟市の公共施設を めぐる状況は…④

すべての施設を維持することは困難な状況

現在の公共施設を、たとえ長持ち（長寿命化）させたとしても、今後、修繕や建替えなどの費用が不足することが予想されています。

将来の税込増加の見込みが厳しいなかで、今ある施設の全てを今後も同じように維持するのは難しい状況です。

公共施設の将来更新費用と近年平均更新費用の比較

シナリオ	今後50年間の 必要額	年平均の 必要額①	H17～24年 平均額②	年平均 不足額 ①－②
標準 建替周期60年	1兆2,233億円	245億円	121億円	▲124億円
長寿命化 建替周期80年	8,988億円	180億円		▲59億円

「新潟市財産経営推進計画（基本方針編）」4ページ

長寿命化しても、更新費用の大幅な不足が見込まれます。
今ある施設を全てそのまま維持していくことが難しくなります。

修理や建替えのお金が足りなくなるなんて…
これからどうやりくりしたら…



1.市の公共施設をめぐる課題

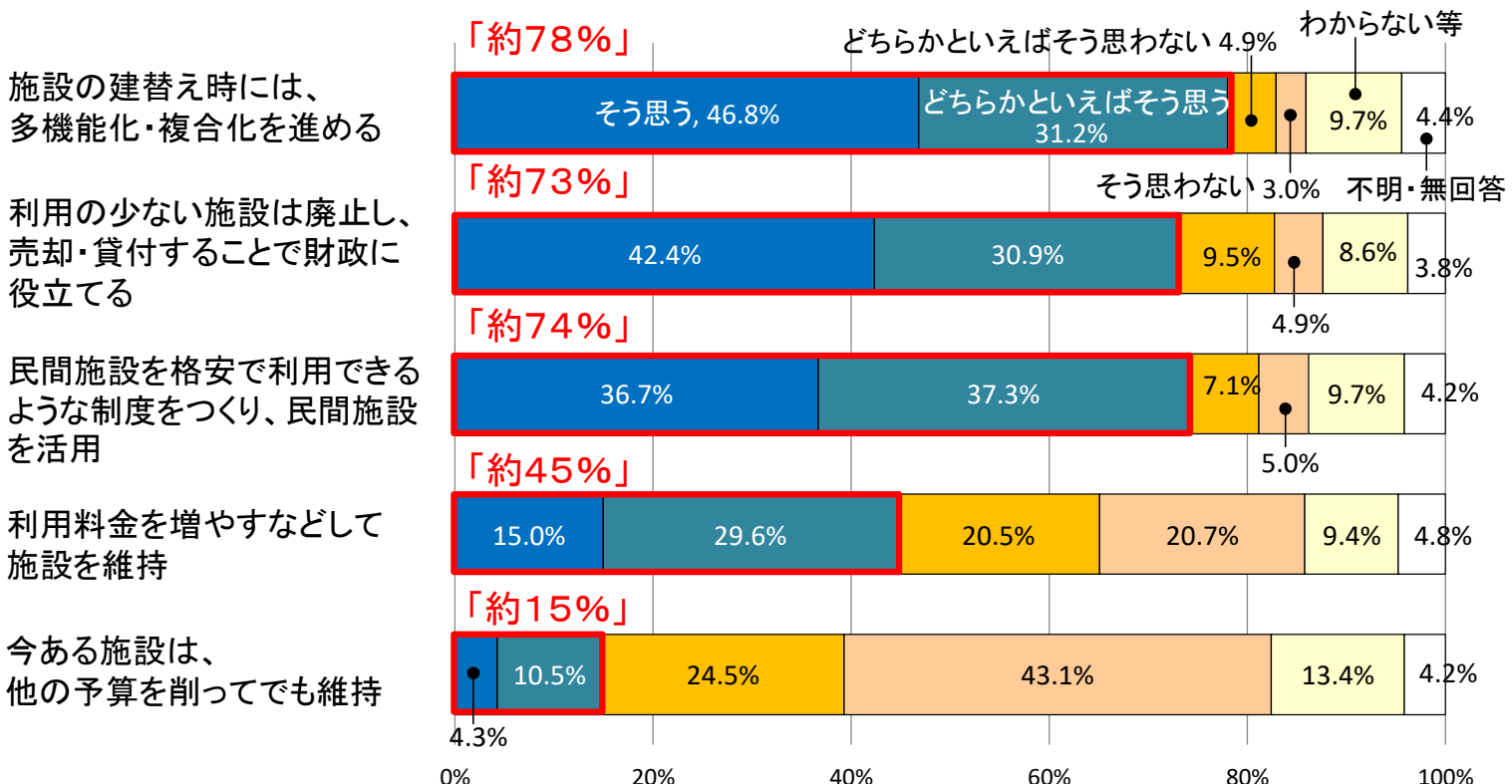
これからの新潟市の 公共施設は…

公共施設の今後のあり方

公共施設に対する市民の考えを知るため、平成30年度に「市政世論調査」を実施しました。

公共施設の合理的な整備・利活用への期待や、公共施設の代わりに民間施設を利用しても良いという考えの割合が高いことなどがわかりました。

公共施設に関するアンケート結果



「第45回 市政世論調査 新潟市の公共施設のこれからのについて」より作成
 ※1 回答：1,655人（回答率41.4%）
 ※2 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります



市民のみなさんは、
知恵と工夫で公共施設のピンチを
乗り越えようと考えているんだね。

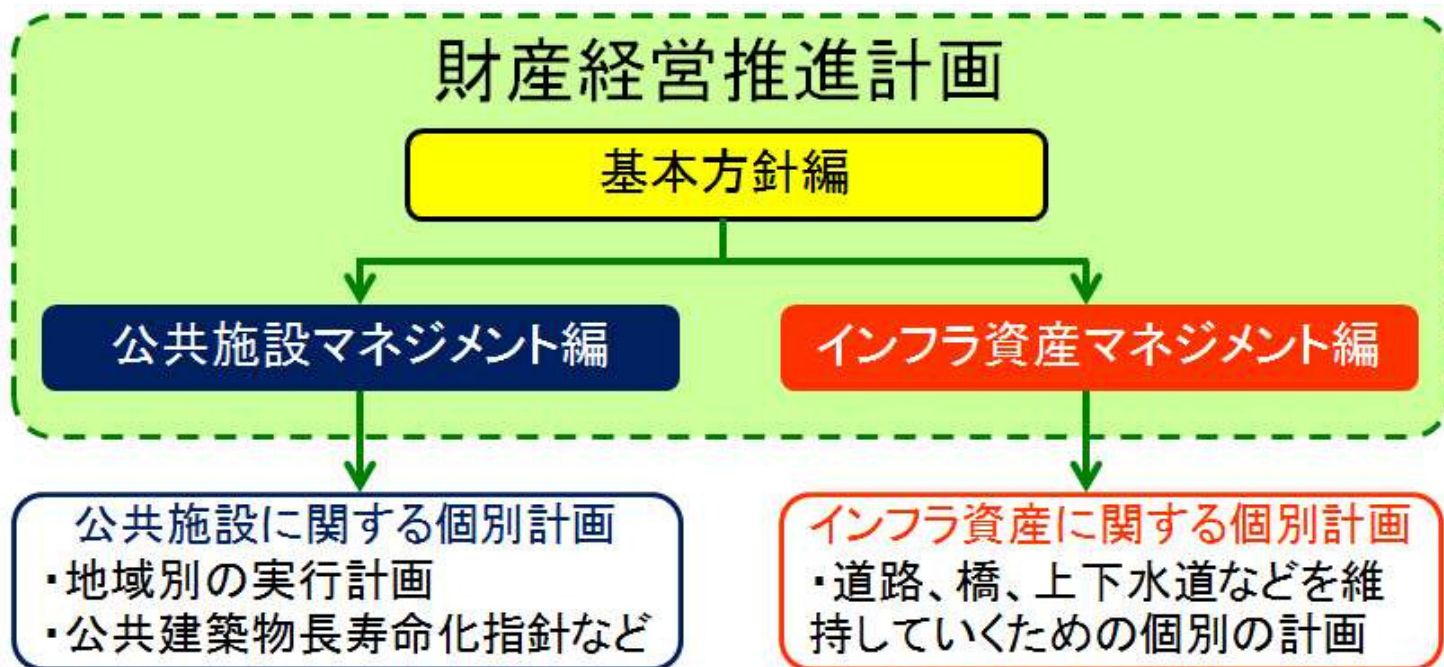
課題に対応するための 「財産経営推進計画」

「新潟市財産経営推進計画」の策定

市の公共施設や、道路、橋、上下水道などのインフラ資産について、今後の管理を安全かつ合理的に進めるため、平成27年7月に「新潟市財産経営推進計画」を策定しました。

この計画は「基本方針編」と、それぞれの施設ごとの個別計画を策定する際の考え方をまとめた「公共施設マネジメント編」及び「インフラ資産マネジメント編」の3部構成となっています。

財産経営推進計画の構成



学校や図書館などの建物と道路などのインフラ資産に分かれているんだね。



「財産経営推進計画」とは…

「新潟市財産経営推進計画」の基本的な考え方

【 公共施設の基本方針 】

総量削減

人口減少や厳しい財政状況などを踏まえ、施設にかかる費用の削減や、需要に見合った施設規模での更新、集約化・統廃合による施設の見直しなどを行います。

サービス機能の維持

単一目的の施設から多機能化・複合化施設への転換を図り、施設規模は縮小しても、スペースの有効活用などによりサービス機能を可能な限り維持します。



【 財産経営の4つの柱 】

①施設の最適化

既存施設の転用や多機能化・複合化、民間サービスによる代替などにより、施設の最適化を進めます。

②施設の長寿命化

定期的な点検・診断と保全などにより、施設の長寿命化を図ります。

③歳出の削減

施設の修繕・更新時期に合わせ、施設規模の見直しや管理・運営の効率化などによりコスト削減に努めます。

④歳入の確保

施設跡地など不要となった財産は、売却・貸付を行うことで歳入の確保に努めます。

「財産経営」って難しそうだけど、
要は施設をうまく活用するってことなのね。



施設の最適化のための 「地域別実行計画」①

「地域別実行計画」の策定

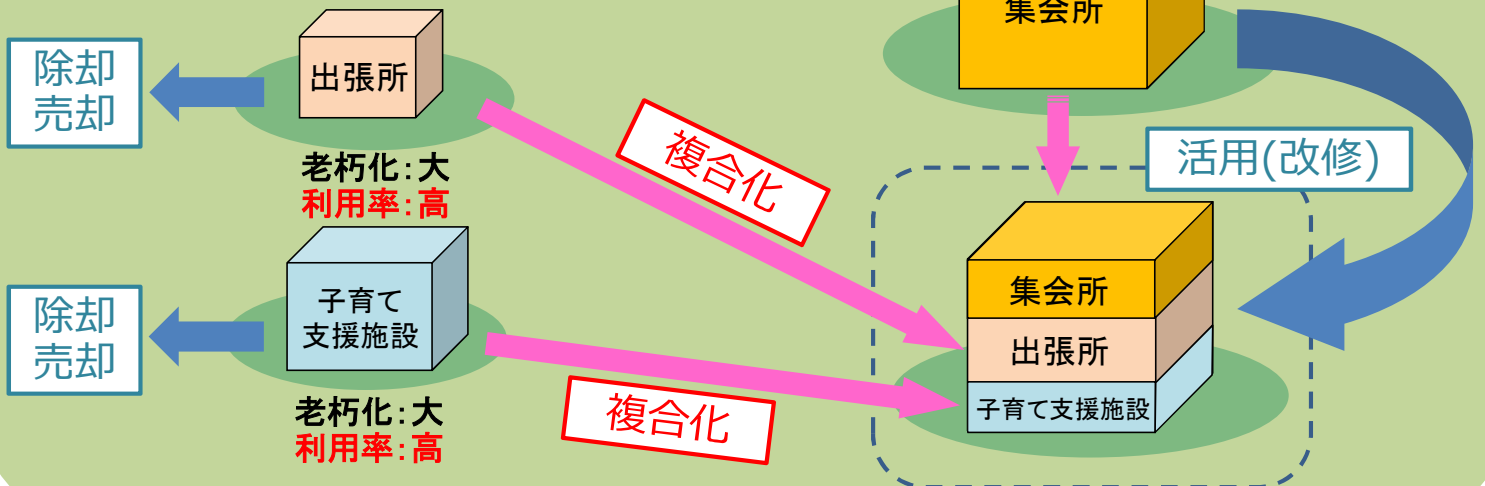
財産経営推進計画では、中学校区（市内55地域）を基本単位として、地域住民と協働で公共施設の最適化を検討し、具体的な実行計画を策定することとしています。

実行計画の検討は、学校統合や主要な施設が更新時期を迎えるなど、公共施設に動きのある地域から順次策定に着手することとしています。

施設の最適化の手法について

複合化の例

利用が多く老朽化が進んでいる「出張所」・「子育て支援施設」の機能を利用が比較的少ない「集会所」の低利用スペースを活用(改修)し、機能を移転させ施設の複合化(集約化)を行う。



複合化って老朽化対策だけでなく、
一か所で用事が足りてとても便利になるね。

施設の最適化のための 「地域別実行計画」②

市民との協働による計画策定

地域別実行計画では、地域全体の公共施設のあり方を検討し、施設総量が削減されたとしてもサービス機能をできるだけ維持するための計画を策定していきます。

計画の策定にあたっては、地域のみなさんと市との協働により進めていきます。

地域との実行計画の手法について

ワークショップ

地域のみなさんの声を計画に反映するためにワークショップを開催していきます。
参加者は、コミュニティ活動をしている人や、公共施設利用団体、PTA、公募の方などで構成されます。



広報紙(ニューズレター)

ワークショップや、市の検討の状況を地域のみなさんにお伝えするために広報紙を作成し、適宜発行します。



実行計画の検討にあたっては、ワークショップ、広報紙やオープンハウスなど、様々な機会を設けて、地域のみなさんの意見を反映しているんだね。

パネル展示型説明会 (オープンハウス)

市の取り組みやWSの議論の内容など、様々な情報をパネル展示し、地域のみなさんに状況をお伝えするとともにご意見をお伺いします。



木崎地域の

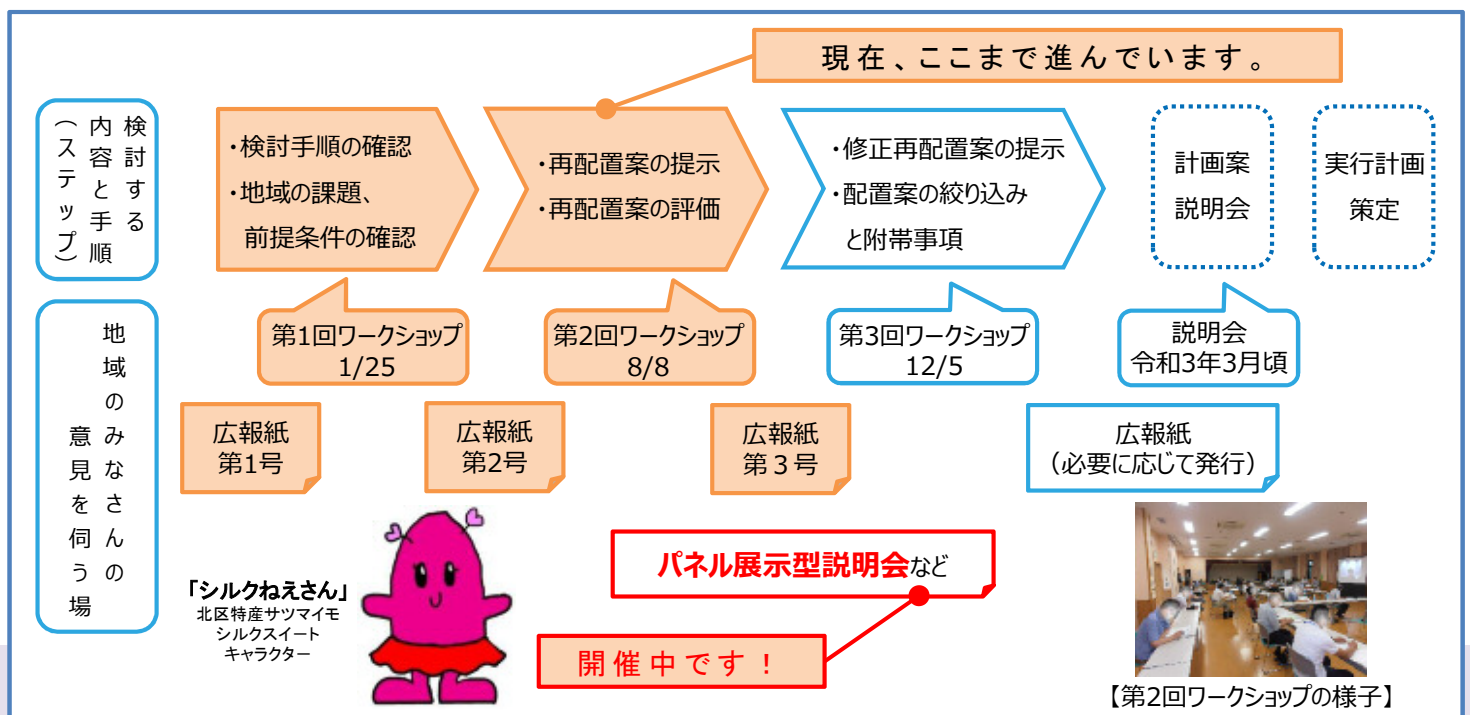
「地域別実行計画」の進め方

検討に着手したきっかけ

木崎中学校区では、児童数の減少に伴い小規模校となっていた笹山小学校と木崎小学校の統合を契機として、笹山小学校跡地の活用など、木崎中学校区の公共施設のあり方について、地域のみなさんと市がともに考えるワークショップを開催するなど、市民との協働による「地域別実行計画」の策定に向けた取り組みを開始しました。

検討の進め方

下図に示したステップに分けて検討を行い、「地域別実行計画」を策定します。ステップに合わせ、さまざまな方法で広く地域のみなさんのご意見を伺い、検討に反映します。



木崎地域の公共施設の概況

【木崎コミュニティセンター】



- 主にコミュニティ木崎村やサークルの活動などに利用される
- 築年数が浅く、当面の改修予定はなし
- 指定管理者による管理運営施設

【旧笹山小学校】



- 令和2年度に、木崎小学校と統合し、笹山小学校は令和元年度末に閉校
- 閉校後の跡地活用について、方向性の検討が必要

【横井の丘ふるさと資料館】

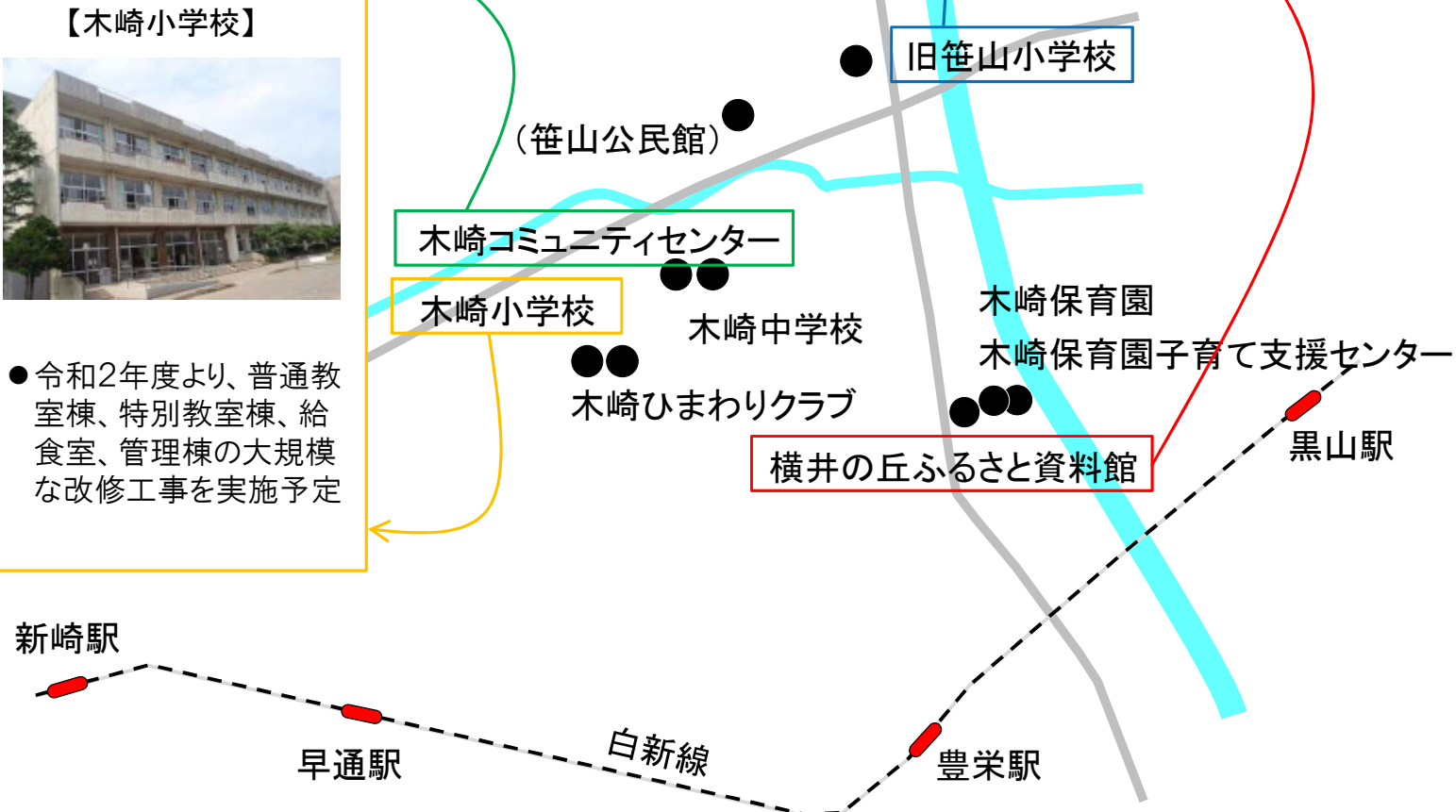


- 旧横井小学校の特別教室を改修し、木崎小作争議関連資料等を収蔵
- 耐震性がなく平成29年度より一般公開を中止
- 今後のあり方の検討が必要

【木崎小学校】



- 令和2年度より、普通教室棟、特別教室棟、給食室、管理棟の大規模な改修工事を実施予定



木崎地域の課題

第1回ワークショップでは、木崎地域が抱える公共施設に関する課題や課題解決策について議論を行い、以下のように整理しました。

【木崎地域全体の課題】

視点	木崎地域全体についてのワークショップ意見
木崎地域の活性化	市街化調整区域が多く、他地域から移り住みたくても家を建てられないことがある。地域外の人を広く受け入れられるようになることよい。 農地が多いのがこの地域のメリットなので、バイパスや港に近いという交通の便の良さを活かした民間活用により、農地が活用できるとよい。
交通利便性の確保	地域内には人口が少なくインフラ整備が整っていない地区や近隣に店舗がなくて買い物に不自由な地区がある。 市内中心部との間のバスが少なく駅も遠いため、車の運転ができない人は移動しづらい。
コスト縮減	今後人口が減少して少子高齢化が進むと共に、公共施設も老朽化していく。不採算の施設は整理していく必要がある。

【笹山小学校跡地の活用についての課題】

視点	笹山小学校の跡地活用についてのワークショップ意見
民間活力による木崎地域の活性化	交通の便などの立地条件もいいので、公募などを行い民間で活用してはどうか。 企業から応募があった際には、地域のイメージを壊さないように配慮し、地域の意見を要望することも必要があると思う。 東港との物流拠点になり得る場所に立地しており、工業団地もあるので、植物工場やイベント会場などとして活用できるのではないかな。 体育館と校舎を別々に貸し出したり、シェアオフィスなどの多目的スペースとして活用すれば、企業の事業所、地域特産物加工場、子どものための施設などに活用でき、選択肢が広がるのではないかな。
教育機能の維持	商業施設と教育施設を複合したり、専門学校を誘致したりして、今後も教育の場として使っていけるとよい。
スポーツの場、健康増進を目的とした場の確保	学校の教室を利用して、講座や卓球などの軽いスポーツができ、高齢者が気軽に立ち寄れる場所が作れるとよい。 スポーツ団体が活動場所を確保するのが難しくなっているので、今後も体育館をスポーツに利用できるとよい。
子どもの遊び場の確保	放課後に小学生が過ごせる場所や小学生と幼児と一緒に連れて行ける遊び場が地域にないので、安心して自由に体を動かせる場所ができるとよい。
安全性の確保	今後も避難所機能を維持することを最優先に考えた方がよい。

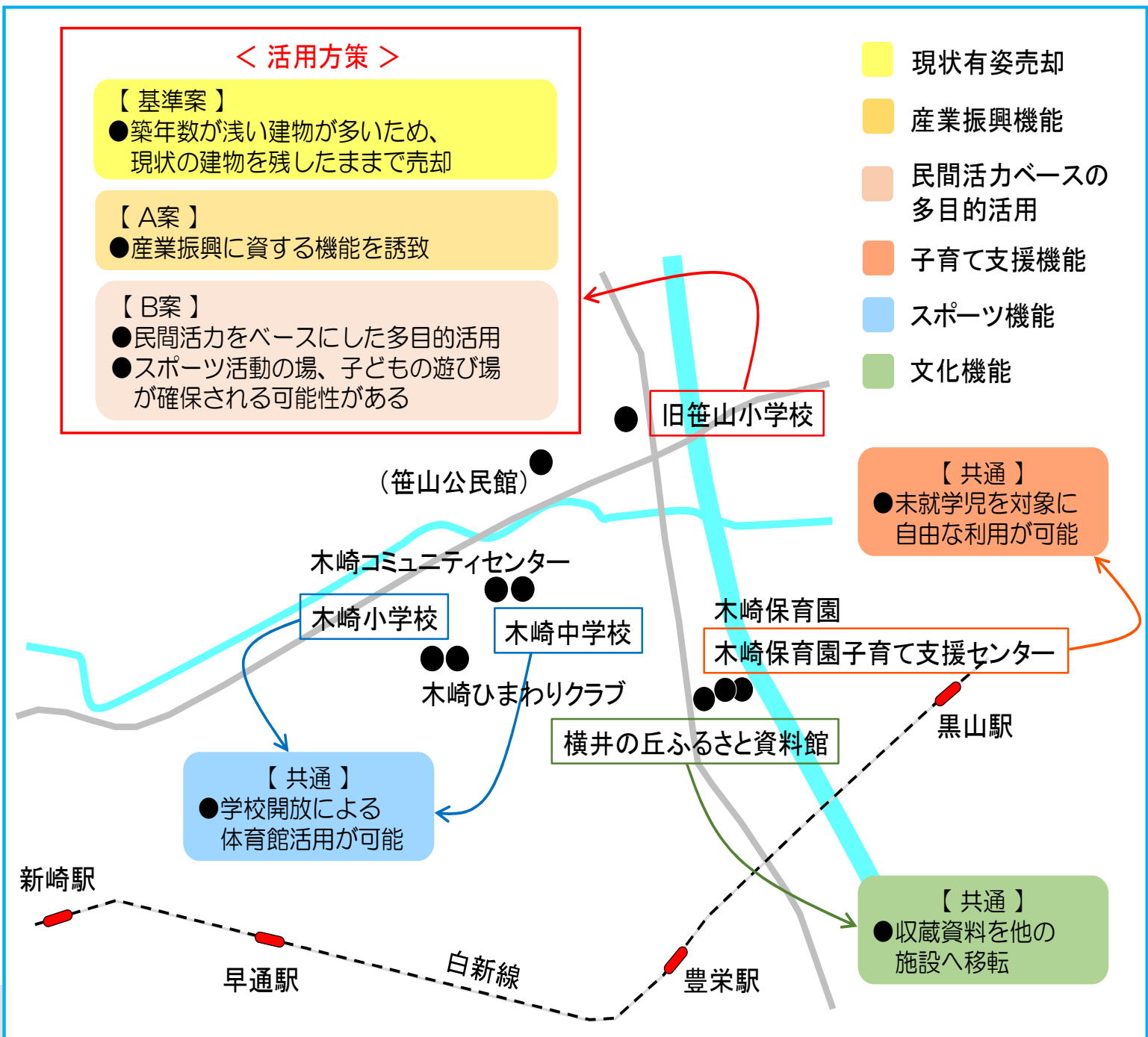


これらの課題をもとに対策案を作成しました。
みなさんのご意見をお寄せください！

対策案

第1回で意見をいただいた課題をもとに、サービス機能が既に確保されている部分や不足部分について検討を行い、市が対策案を作成しました。

第2回では同案の評価できる点、懸念される点について議論を行いました。



対策案の特徴

各対策案の特徴について、以下のようにまとめました。

評価できる点を○、懸念される点を△として表現しています。

評価の基準案：現状有姿で売却する案

<笹山小学校跡地>

- 笹山小学校は築年数が浅い建物が多いため、取り壊さずに現状の建物を残したまま利用条件を付けずに売却することで有効活用を図ることができる。
- 利用条件を付けずに売却するので、A案やB案と比較し、早期に民間による活用を開始できる可能性が高い。
- △市街化調整区域であり、土地利用が制限される。
- △避難所機能確保の条件を付して民間に売却することは可能だが、民間の事業内容によっては制約と捉えられ、購入意欲が低下する可能性もある。

A案：立地条件を活かした企業誘致を行う案

<笹山小学校跡地>

- 東港物流団地、東港工業団地と近接しており、地の利を活かして企業を誘致する。
- 地域経済への貢献、雇用の拡大が期待できる。
- 既存建物を活かした民間事業者などによる事業提案を想定。
- △市街化調整区域であるため、土地利用が制限される。
- △避難所機能確保の条件を付して民間が活用することは可能だが、提案の自由度が下がる可能性がある。
- △跡地の民間活用は現段階では想定であり、今後公募の状況により実現性を担保できない可能性がある。

再編案などについて
ご意見を
お寄せください。



B案：民間活力をベースにした多目的活用を行う案

<笹山小学校跡地>

- 既存建物を活かした民間事業者などによる事業提案を想定。
- 体育館と校舎を別々の事業者へ貸し、シェアオフィスやチャレンジショップなどの多目的スペースとして活用する。
- 事業者の提案により、軽運動やスポーツの場、教育機能の場、子どもの遊び場として活用される可能性がある。
- △市街化調整区域であり、土地利用が制限される。
- △避難所機能確保の条件を付して民間が活用することは可能だが、提案の自由度が下がる可能性がある。
- △跡地の民間活用は現段階では想定であり、今後公募の状況により実現性を担保できない可能性がある。

各案共通

<横井の丘ふるさと資料館>

- 収蔵資料を他の施設などに移転し、施設の廃止後、将来的に解体する。

<旧木崎ひまわりクラブ>

- 木崎小学校敷地内へ令和元年度にひまわりクラブを新築・移転が完了。旧クラブは将来的に解体する。

<地域内のその他施設>

- 配置方針に照らし合わせ、適正な配置であることから、今後も適切に維持する。
- 令和2年4月1日付で笹山公民館を新たに指定避難所とした。

木崎地域の「実行計画」 策定に向けて

地域みなさんも一緒に考えましょう！

ワークショップをはじめ、地域みなさんから寄せられたご意見をふまえ、対策案を修正し、12月5日開催予定の第3回ワークショップで検証を行います。

地域みなさんから寄せられたご意見をもとに、市で「地域別実行計画」を策定していきますので、ぜひご意見をお寄せください！



みんなで考えよう！ 公共施設のこれから！



ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局（北区地域総務課・財務部財産活用課）

郵便 〒950-3393 新潟市北区葛塚3197番地

TEL 025-387-1175

メール chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp

FAX 025-387-1020

「シルクねえさん」
北区特産サツマイモ
シルクスイート
キャラクター



ワークショップで配布した資料は、
市ホームページに掲載しています。

